

第5回宇宙産業部会 議事録

1. 日時：平成25年10月18日（金） 9：00－11：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室5階会議室

3. 出席者

(1) 委員

松本部会長、中須賀部会長代理、池上委員、佐相委員、下村委員、西村委員、仁藤委員、目崎委員、山川委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、明野宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官、前原宇宙戦略室参事官、野村宇宙戦略室参事官

(3) 説明者

独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）理事 山浦 雄一
一般社団法人日本航空宇宙工業会（SJAC）技術部部长 宇治 勝

4. 議事録

事務局より、資料2に基づき、宇宙産業政策の検討の視点について説明があり、続いてSJACから資料3に基づきヒアリングを行った。ヒアリングを受け、以下のようなやりとりがあった。（以下、○意見・質問等、●回答）

○諸外国における宇宙ベンチャー支援の状況如何。（仁藤委員）

●政府支援については正確なところはわからないが、韓国のサトレック・イニシアティブ社は、政府による画像購入契約等の支援が存在する模様。米国のスカイボックス・イメージング社は、そのような支援は受けておらず、自助努力で市場開拓していくつもりと聞いている。英国のDMC ii社については情報が無い。（宇治部長）

○ロシアは我が国の1.8倍程度の宇宙予算で、打ち上げ数が約10倍となっているのはなぜか。（松本部会長）

●ロシアは海外の衛星の打ち上げを受注しているため。（中須賀委員）

次に、資料4に基づきJAXAからヒアリングを行った。ヒアリングを受け、以下のようなやりとりがあった。

○JAXAにおいて、産業振興に集中的に取り組んでいる職員は何名いるのか。（山川委員）

●産業振興はJAXA全体として取り組むべき仕事であるが、例えば産業連携センターには40名、本年3月に設置した新事業促進室には30名程度の人員がいる（山浦理事）

○新事業促進室は企業からJAXAへの窓口相談として機能しているようだが、相談に乗ることに加え、JAXAから産業界へ積極的に働きかけることが重要と考えるが、取組状況如何。(松本部会長)

●産業連携センターがベンチャー企業等の掘り起こしを実施。日本各地にコーディネータを配置し、きらりと光る技術や、宇宙産業に参入を希望する企業等を発掘し、これらを宇宙技術を活用したい主体とつなげるため、需要側と供給側の双方が集まる拠点を各都道府県内に整備することへの支援を行っている。こうした拠点は全国に数十あり、宇宙利用の拡大や国際競争力を視野に入れた議論を始めているところ。(山浦理事)

○JAXAの持つ技術と、ベンチャー等にニーズのある技術にギャップがある。両者をどうつなぐかという取組を期待する。(池上委員)

●JAXAでは、理事長の指揮の下、「他人の後追いではなく、人が買ってくれるものを作るためのイノベーションをいかに起こすか」をキーワードに取組を進めている。(山浦理事)

最後に資料1を踏まえて議論を行った。主な議論の内容は以下のとおり。

(欧州の取組について)

○具体的な利用を念頭に置いて研究開発を行う欧州の取組は参考になる。こうした取組を我が国でも官民挙げて推進することが重要。最初から事業化というゴールを設定しておくことが非常に重要。(下村委員、目崎委員、仁藤委員)

○欧州の取組と言った時に、複数国が集まったESAよりも、フランスのCNESの取組の方が、我が国にとって参考になるのではないかと。(池上委員)

(ベンチャーについて)

○我が国においては、企業統合や、新規参入、ベンチャーが起こりにくい。こうした取組を国としてどのように後押ししてくかが重要。(中須賀委員)

●ベンチャー企業を増やすためには、失敗した場合の失業対策が必要。米国ではベンチャー企業にNASAや大企業から多くの優秀な技術者が集まったが、日本で宇宙分野の優秀な技術者がベンチャーにどれほど参加するか。事業が失敗した場合にも直ちに失業せずに数年間は仕事があるような仕組みができないと、起業やベンチャー企業への参加に踏み出せないと思う(松本部会長)

○文科省ではベンチャーへ資金援助可能な予算を準備しているが、リスク等を配慮した民間の知恵を入れた選定と運用が重要。資金を出す側もベンチャーに精通している必要があり、ベンチャーを興した経験を有する人材の意見を聞く場を設けることが重要。(池上委員)

○政府だけでなく、民間事業者からもベンチャー企業に対して仕事を発注して需要を保障するような仕組みが必要かもしれない。(仁藤委員)

○中堅の優秀な技術者をベンチャーに集めるのは難しいと思う（松本部会長）。

- スカイボックス・イメージング社の例では、これまで大手企業でサブメータ級の高度な衛星開発を行っていた人材の中で、「やはり自分は小型衛星の開発をやりたい」という意思のある人材が同社に移籍した。こうした人材は、自分たちの取組が必ず成功するというマインドを持っており、先のことは心配していない。仮に失敗しても、米国では失敗した経験が評価されるため、再起のチャンスがあるということも重要（中須賀委員）

（官民連携と海外展開について）

- 衛星やロケット単体ではなく、宇宙機器産業として海外市場に打って出る際には、競争力がある分野をさらに強化すると同時に、他の分野でも海外市場の獲得を目指す必要がある。その際、国としてどの分野に重点的に取り組んでいくのかについて、官民が連携して優先順位付けを行っていくような仕組みが必要。その際、分野毎にそれぞれ長期の実務経験を有する専門家が検討に加わるべき。（中須賀委員）

○我が国において産業界と宇宙戦略室をはじめとする関係省庁や JAXA とを有機的に繋ぐ取組が必要。（池上委員）

- 現在進んでいる受注活動を成功させることが起爆剤となり、マーケットが開けていく。その際、最も重要なのは現地の情報。国と民間で得られる情報に違いがあり、その両方がないとうまく受注できない。官民で信頼関係を築きながら、意見交換と情報共有を行うことが重要。（池上委員、山川委員）

- 政府としても、インフラシステム輸出戦略を策定し、その中に宇宙分野も位置付けられている。政府一丸・官民連携によるトップセールスを通じて海外市場への売込を行っており、官民一体となって海外展開を推進していく地合いができてきている。（西本室長）

○我が国は技術力はあるが、販売戦略で欧米諸国に劣後している。宇宙産業の海外展開のためには、官民で連携し相手国のニーズ情報を効率的に把握していくことが重要。それぞれの国や地域に人脈を有し、現地の事情に精通した人材を確保することが有効。（中須賀委員）

○標準化活動も重要。海外市場で戦うためには、ある部分の標準を日本勢が有している必要がある。例えばテレビの地デジ日本方式はうまくいった例。技術標準をベースに、防災等日本の経験をスパイスとして利かせて特長を出すことが重要（佐相委員）

○技術流出を防止していくことも必要。英国の DMC i i 社では衛星を相手国に引き渡さずに撮像権を販売することでビジネスを展開しており、宇宙利用の標準を獲得し、利用を拡大しながら、技術流出を防止する利点がある（山川委員）

（宇宙利用の拡大について）

- 宇宙利用産業を活性化させていくには、宇宙以外の分野をいかに巻き込んでい

くかが重要。宇宙産業側の発想では限界があり、現場で困っている人のニーズから発想しなければならない（中須賀委員、西村委員）。

○宇宙利用の拡大に資する取り組みに対して賞金やビジネスのスタートアップ資金を出すなど、アイデアを掘り起こす仕組みを長期的に運用していくことが重要。こうした事業を運用する組織も必要ではないか。（中須賀委員）

○宇宙利用の拡大を推進するうえで、利用省庁の役割は大きい。農林水産業、食料、エネルギー政策などの分野で各省庁が宇宙をもっと積極的に使おうと働きかけ、そこをどう強化するかを検討しないといけない。先日安部総理が電気学会で宇宙太陽光発電をやろうと発言されたと聞いている。政府トップが宇宙利用の拡大について積極的に発言されることが重要。また、宇宙開発利用大賞のような取り組みは宇宙利用の拡大を図るうえで重要。機器産業、利用産業、パーソナルな利用や国全体の政策としての宇宙利用など様々な側面がある。今は宇宙を使っていない分野の方を含めて意見を聞き、個々のより具体的な問題について検討する場を設けるのがよいのでは。（松本部会長）

○宇宙産業の発展のためには、市場を拡大していくことが重要。今後、成長すると見込まれているのは「個人による宇宙利用」であり、この分野での需要開拓が重要。また、安全保障という観点で、国の需要が増えていくことも忘れてはならない点。（山川委員）

○衛星測位分野は、内閣府主導の準天頂衛星プログラムが具現化しつつあり、弊社でも利用拡大に積極的に取り組んでいる。一方、リモートセンシングの分野においても利用の拡大が課題であるが、安全保障分野の利用を産業界も意識する必要がある。（西村委員）

（新たな基幹ロケットの競争力について）

○新たな基幹ロケットを開発するだけでなく、日本のロケットが使い勝手の良いものとして世界に認識されるような仕組みを国としてどのように構築していくかが重要。また民間のロケットビジネスに対し、どこまで国がサポートし、どこは民間がリスクを負わないといけないかを明確化することが、企業参入には必要。（中須賀委員）

●新たな基幹ロケットのコンセプトを開発の初期段階から世界に対して明確に示し、使い勝手の良いロケットであることを印象付けていく活動が重要。（山川委員）

以 上